※令和５年度以降入学生用

学校番号	102

令和８年度　外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	論理・表現Ⅰ	2	1	・MAINSTREAM English Logic and Expression I ・Listening Scope BASIC

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

論理・表現Ⅰは話すこと（やり取り）」「話すこと（発表）」「書くこと」を中心とした統合的な言語活動を通して，コミュニケーションを図るために必要な発信能力を育成するとともに，論理の構成や展開を考察することで，情報や考えなどを論理的に工夫しながら伝える能力を養う。

2 学習の到達目標（「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標）

【第１学年】

領域	聞くこと	読むこと	話すこと （やり取り）	話すこと （発表）	書くこと
学習到達目標	・事物に関する紹介や対話などを聞いて，情報や考えなどの概要をとらえることができる。 ・事物に関する紹介や対話などを聞いて，情報や考えなどの要点や詳細をとらえることができる。 ・リズムやイントネーションなどの英語の音声的な特徴に注意しながら聞くことができる。	・説明や物語などを読んで，情報や考えなどの概要をとらえることができる。 ・説明や物語などを読んで，情報や考えなどの要点や詳細をとらえることができる。 ・事実と意見などを区別して読むことができる。 ・内容の要点を示す語句や文，つながりを示す語句などに注意しながら読むことができる。	・聞いたり読んだりしたこと，学んだことや経験したことに基づき，情報や考えなどについて，話し合ったり意見の交換をしたりすることができる。 ・リズムやイントネーションなどの英語の音声的な特徴，話す速度，声の大きさなどに注意しながら話すことができる。	・簡単な語句や文を用いて自分のことを紹介できる ・身近なトピックや出来事について既習の語彙・表現を使って自分の意見を述べることができる。 ・リズムやイントネーションなどの英語の音声的な特徴，話す速度，声の大きさなどに注意しながら話すことができる。	・聞いたり読んだりしたこと，学んだことや経験したことに基づき，情報や考えなどについて，簡潔に書くことができる。 ・内容の要点を示す語句や文，つながりを示す語句などに注意しながら書くことができる。 ・事実と意見などを区別して書くことができる。

3 学習評価(評価の観点と実施方法)

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	コミュニケーション活動を通して獲得する知識及び技能の習得状況について，評価規準を用いて形成的評価をするとともに，それらを概念等として理解したり，技能を習得したりしているかについて評価する。	コミュニケーションを行う目的・場面・状況等に応じて，慣れ親しんだ語句や表現を使って，話される内容を理解したり，自分の考えや気持ちを表現したりしているかどうかを評価する。	自分の考えや気持ちを伝え合うことの楽しさや言葉の大切さを実感しながら粘り強く学習に取り組み，問題解決の過程を振り返って改善しようとする態度を身につけているか，自ら英語を使ってコミュニケーションを図ろうとする態度を身につけているかを評価する。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまり（領域）ごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和５年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	課 “題材名”	領域	評価規準	評価方法
1 学期 2 学期	Lesson1 Nice to Meet You Lesson2 What Kind of Music Do You Like? Lesson 3 My Treasure Lesson 4 This Coming Weekend Lesson 5 Are You in a Club? Lesson 6 My town Lesson 7 I Met a Friend From Junior High School	聞くこと	a: 過去・現在・未来・完了の時制表現を理解している。 b: 身近な話題について必要な情報を聞き取っている。 c: 身近な話題について必要な情報を聞き取ろうとしている。	定期考査
		読むこと	a: 過去・現在・未来・完了の時制表現の理解のもと、英文の内容を読み取る技能を身に付けている。 b: 身近な話題について書かれた文章を読み、要点を捉えている。 c: 身近な話題について書かれた文章を読み、要点を捉えようとしている。	定期考査 （リーディング）
		話すこと （発表）	a: 過去・現在・未来・完了の正しい表現を使って話すことができる。 b: 過去・現在・未来・完了の表現を使って、自分の意見を述べることができる。 c: 自分の趣味や予定に関して、自分の意見を伝えようとしている。	スピーキング テスト プレゼンテーション
		書くこと	a: 自分の趣味や予定を伝えるために必要な書く技能を身に付けている。 b: 自分の趣味や予定について簡単な語句や文を用いて書いている。 c: 自分の趣味や予定について簡単な語句や文を用いて書こうとしている。	ライティング課題
	１学期期末考査			
	Lesson 8 Taking Part in the School Festival Lesson 9 What Can We Do for Ken? Lesson 10 Places Bob’s Father Should Visit Lesson 11 Is Summer Better Than Winter? Lesson 12 A Real Dog or a Robot Dog? Lesson 13 Should Calligraphy Be a Required Subject?	聞くこと	a: 動名詞・不定詞・分詞・比較・助動詞・受け身の表現を理解している。 b: 身近な話題についての説明を、視覚情報など参考にしながら理解している。 c: 身近な話題についての説明を、視覚情報など参考にしながら理解しようとしている。	定期考査
		読むこと	a: 動名詞・不定詞・分詞・比較・助動詞・受け身の表現の理解のもと、英文の内容を読み取る技能を身に付けている。 b: 説明文や社会問題について書かれた文章を読み、要点を捉えている。 c: 説明文や社会問題について書かれた文章を読み、要点を捉えようとしている。	定期考査 （リーディング）
		話すこと （やり取り）	a: 動名詞・不定詞・分詞・比較・助動詞・受け身の正しい表現を使って話すことができる。 b: 動名詞・不定詞・分詞・比較・助動詞・受け身を使って、自分の意見を述べることができる。 c: 日常的な話題に関して、自分の意見を伝えようとしている。	スピーキング テスト プレゼンテーション
		書くこと	a: 動名詞・不定詞・分詞・比較・助動詞・受け身の形式や意味、使い方を理解している。 b: 日常的な話題について、理由を述べながら自分の意見を書くことができる。 c: 日常的な話題について、理由を述べながら自分の意見を書こうとしている。	定期考査 （ライティング）
	２学期期末考査			

※令和５年度以降入学生用

3 学期		聞くこと	a: 仮定法・関係詞・接続詞・否定の表現を理解している。 b: 説明文や社会・環境問題に関するまとまりのある会話文の説明を聞き、要点を理解している。 c: 説明文や社会・環境問題に関するまとまりのある会話文の説明を聞き、要点を理解しようとしている。	定期考査
	Lesson 14 An Impressive Book Lesson 15 Volunteer Activities Lesson 16 Japanese Food Lesson 17. Go Green	読むこと	a: 仮定法・関係詞・接続詞・否定の表現の理解のもと、英文の内容を読み取る技能を身に付けている。 b: 説明文や社会・環境問題について書かれた文章を読み、要点を捉えている。 c: 説明文や社会・環境問題について書かれた文章を読み、要点を捉えようとしている。	定期考査 （リーディング）
		話すこと （発表）	a: 仮定法・関係詞・接続詞・否定の正しい表現を使って話すことができる。 b: 分詞・関係詞・比較・仮定法を使って、自分の意見を述べることができる。 c: 日本文化や社会・環境問題に関して、自分の意見を伝えようとしている。	スピーキング テスト プレゼンテーション
		書くこと	a: 仮定法・関係詞・接続詞・否定の形式や意味、使い方を理解している。 b: 日本文化や社会・環境問題について、理由を述べながら自分の意見を書くことができる。 c: 日本文化や社会・環境問題について、理由を述べながら自分の意見を書こうとしている。	ライティング課題
	学年末考査			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度